



CONTENTS

	ページ
柳河小が文部科学大臣賞ほか	2-3
税に関するお知らせほか	4-5
学校規模や配置への意見募集ほか	6-7

●発行 柳川市 / 〒832-8801 福岡県柳川市本町 87-1
 ●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
 ●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp> ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

▶ 沖教育長にのりを贈る同連合会の西田晴征会長(右)



有明海の新しいのりをぱくり

有明海で採れたのりを子どもたちに食べてもらおうと2月5日、市内25の全小中学校の給食で有明海産の新しいのりが提供されました。これは、2月6日の「海苔の日」にちなんで福岡有明海漁業協同組合連合会が毎年企画しているもの。昭代第一小学校(待鳥高司郎校長)の2年1組では、児童21人が厚焼き玉子やニラのサラダ、ご飯をのりに巻いて手巻き寿司にしてほおぼっていました。児童の1人は「のりが大好きなので、また給食で食べたい」と笑顔を見せていました。



【上】大学全国制覇を成し遂げた東海大学サッカー部の高田さん(右)と堤さん。共に2年生でポジションも同じミッドフィルダー【左上】相手を圧倒するスピードでピッチを駆け回る高田さん【左】30mものロングスローでチームのセットプレーの起点となる堤さん

柳川探求

No.12

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

柳川出身の2人が大活躍 東海大学サッカー部日本一に貢献

高田 悠さん(間・20歳)
堤 太陽さん(明野・20歳)

1月に開催された大学サッカー日本一を決める「#atarimaeniCUP」で優勝した東海大学サッカー部。そのチームで、柳川出身の高田悠さんと堤太陽さんが、初戦から全試合に先発フル出場の大活躍によって、チームを20年ぶりの全国優勝に導きました。

柳川で覚えたサッカーの魅力

2人が本格的にサッカーを始めたのは、市内のサッカーチーム。高田さんは城内SC、堤さんは大和ウィンガーズFCでサッ

カーにのめり込んでいきました。2人とも「柳川でのサッカーが僕らの原点」と振り返ります。その後、筑後サザンFCサレストレーラでチームメイトとなった2人は、東海大福岡高校、東海大学と同じ道を選択。切磋琢磨しながら技術を磨いてきました。「高田のドリブルは本当に速い」「堤の視野の広さとパスセンスは別格」とお互いの信頼関係は抜群です。

全国から32チームが集まった1月の大会では、戦前の予想を覆して、最もレベルが高いと

いわれている関東リーグの1部に所属する明治大や順天堂大を次々と撃破。決勝では法政大を破る大番狂わせを起こしました。

夢はプロサッカー選手 そのために大学で結果を求める

2人に今後の目標を尋ねると、「来シーズンから関東リーグの2部上がるので、1部まで昇格する。そこでアシストやゴールなど結果を残して、Jリーガーになりたい」と共通の目標を力強く話してくれました。

編集後記

少し前の編集後記でもっと運動しようと宣言した。しかし、自粛期間だから...、熱中症になりそうだから...とあらゆることを言い訳に結局はじめられないまま。編集後記で宣言すれば運動するはずと思っていたがこの作戦も失敗。意思が弱い私が運動を続ける方法を考える毎日です。(実業家)

柳川観光大使 大淵盛人九段の囲碁入門

「囲んで取った石はどうなるの?」
取った石は、最後に相手の地に置きます。
右図は終局の場面です。取った石は黒2個、白も2個。どちらが勝ったのでしょうか。

黒が取った石▷○○
白が取った石▷●●

